

地球の食料庫、豪州&ニュージーランドを読む
Wealth
 ウェルス
 15. March Vol. 647



新たな市場の建設が進むシドニーフィフ
シュマーケット

From Oceania
To Japan

オセアニアの人気商品紹介
第439品 ムープレミアム
フーズのグラノーラヨーグ
ルト



22

中国、豪産ワイン関税を撤廃へ 月末に輸入再開か

N E W S H E A D L I N E

- 【ワイン】ワイン用ブドウ過剰供給、主要産地が窮地 3
- 【酪農】減少傾向の豪牛乳生産が反転、1%増に 4
- 【酪農】NZ粉乳業界、中国以外の市場に注目を 5
- 【酪農】NZの酪農業、豪の乳製品輸入急増で恩恵も 6
- 【畜産】来年度の畜牛取引価格、24%上昇予想 6
- 【畜産】今後の豪畜牛価格動向、メカルドが分析 7
- 【畜産】と畜場の監視カメラ、動物福祉認証で必須に 7
- 【畜産】豪2月の牛肉輸出量は3割増、日本向け最大 8
- 【畜産】生体牛輸出が回復へ、前年度超え予想 8
- 【穀物】豪1月小麦輸出、最盛期入り前月比2倍に 9
- 【穀物】豪のソルガム生産、収穫目前で良好見通し 9
- 【穀物】豪産マメ類1月輸出、3分の1に減少 10
- 【穀物】豪コメ大手サンライス、対越投資拡大へ 10
- 【食品・飲料】和田フードテック、ペースに熱々弁当自販機 11
- 【青果】スーパー価格問題、青果生産者から非難続出 11
- 【食品・飲料】コールズ、サプライヤーにコスト削減要求 12
- 【食品・飲料】豪のベーカリー業界が活況、小さな贅沢求め 12
- 【食品・飲料】酒屋行くのはQLD州で、高額支出はSA州 12
- 【食品・飲料】超加工食品、32種類の健康障害の原因に? 13
- 【食品・飲料】SA州で外食の倒産相次ぐ、支出減少で打撃 13
- 【水産】NTでオイスター養殖、地域の雇用促進も 13
- 【環境】プラを劣化させず再加工、新興企業が開発 14
- 【その他】農業での信頼ブランド、1位はエルダーズ 14
- 【政策・投資】NZと湾岸協力会議、約1年ぶりFTA協議 15
- 【食品・飲料】NZ2月食品価格、上げ幅約3年ぶり低水準 15

SPECIAL REPORT

多様化する食のかたち フードトレンド・リポート

- 19 第10回 話題のプラント
ベース・スーパー

有為転変

- 20 第197回 NEMESIS (報復)
の政治、馴れ合いの政治

日本に売り込め! チーム・オーストラリア

- 21 国際食品・
飲料展FOODEX訪問ルポ

- 16 豪・NZ林業ニュース

- 17 海外農業・食品情報

- 18 今週の農業1行フラッシュニュース!

- 22 ウェルス掲示板

- 23 豪主要農畜産地域の降水量

- 24 豪・東部地区若齢牛指標価格(EYCI)

- 24 ウェルスのトリビア

- 24 湖城の窓から

(花音) オージーたちの間に広めたい。 本の味はオージーたちの口に合わないのか?いやそんなはずはない。正統派の味噌汁をあの少ししょっぱい味噌と鰹の風味が恋しい。本当の日はオージーたちの間に広めたい。

その衝撃が忘れられず、現地のスーパーでミソスープと書かれたインスタントを買った。わくわくしながらお湯を注ぎ一口。あれ?汁がとても薄い。味噌入ってる?といふくらい薄い。ミソスープといふより単なるスープだ。

シドニーの自宅で夜中にこっそりインスタントの味噌汁を取り出した。日本製とは違い、インスタントだから味には期待していなかった。だが口に含んだ瞬間、鰹だしの風味がぶわっと広がり、衝撃が走った。実のところ今まで味噌汁はサブキャラで、そのおいしさに気づいていなかつたのだ。「好きなものはなんですか?」と聞かれたら一択で「味噌汁です!」と答えようと決めたほどだ。



本物の味

【食品・飲料】

和田フードテック、パースに熱々弁当自販機

和田フードテック（大阪府大阪市）がこのほど、オーストラリアのパースで国内初となるホットチェーン弁当自動販売機の運用を開始したと発表した。顧客はできたて熱々の和食弁当を、わずか17秒で購入できるという。

現地企業VenChefと提携し、日本料理店Tokyo Stationに自販機を設置した。同自販機は温度や在庫情報、機器の状況などをクラウドで管理する。飲食店の販売チャネルの拡大に寄与するという。

和田フードテックのジェイソン・チェン最高経営責任者（CEO）は、「香港や日本で展開した経験を生かし、オーストラリア市場にホットチェーン（高温物流）のソリューションを導入した」と述べた。

同社は労働力不足や食品安全への懸念は、多くの先進国で共通する問題だと指摘。自動化や省人化を可能とする同社の「ホットチェーンプラットフォームサービス」は大きな可能

性があるとした。

同CEOはまた、「『デザインインジャパン』の戦略を



豪初の弁当自販機は注目の的（同社提供）

用い、顧客体験を向上させるためにオーストラリア版にも改良を加えた。市場のB2Bクライアントとエンドユーザーの品質と満足度の向上に貢献できる」と述べた。

パースでの事業が軌道に乗れば、シドニーやメルボルンにも年内に展開し、100台以上の自販機を設置したいという。

【青果】

スーパー価格問題、青果生産者から非難続出

オーストラリアの大手スーパーは、正当な理由もなく野菜や果物の納品を拒否する——。青果の生産者が上院調査会が実施した公聴会で証言した。生産者に支払われる青果の代金も、生産コストの上昇に関係なく、ここ10年以上で変わっていないと訴えた。

ウールワースやコールズの価格問題の公聴会が12日にニューサウスウェールズ（NSW）州中西部のオレンジで開催された。農業誌ウイークリータイムズによると、出席した生産者は「スーパーは、ズッキーニが真っすぐでなければ納品を拒否し、カリフラワーは大きすぎるといって拒否する」と証言した。

また別の生産者は、2011年に1キログラム当たり2.6豪ドル（1豪ドル=約97円）だったりんごの納品価格は、23年9月時点でも同じだと述べた。スーパーの価格設定は安売りを前提としており、その間の12年間で50%上昇した人件費や、物流、肥料、エネルギーなどのコスト高騰は考慮されず、将来に備えた再投資ができないと訴えた。こうしたスーパーの行為により、業界を離れた生産者も出たという。

公聴会は、タスマニア州ホバートでも実施された。全国農業者連盟青果部門のグリフィス氏は「大手スーパーは、特売を発表すると値下げ

分をサプライヤーに全額負担させる」と非難。スーパー名や商品名は「生産者にとって契約上のリスクになる」として明かさなかった。

公聴会は今後、ビクトリア州でも実施され、リポートは5月に発表される予定だ。

競争委、スーパー問題を最優先

こうした大手スーパーの動向について調査会のマッキム会長は、「小規模のサプライヤーが不当な扱いを受けている」と述べた。また、市場介入なしの現行の規制は失敗したと指摘し、生産者や消費者を保護するには、より強い規制と競争が必要だと強調した。

また、1年間の調査を行うオーストラリア自由競争・消費者委員会（ACCC）のキャス・ゴットリープ委員長は、「2年間で14%と大幅に上昇した食品価格を反映し、スーパー業界における価格や消費者保護、競争の問題を最優先する」と述べた。